

北見市上下水道中期経営プラン (前期 平成 22 年度～平成 26 年度)

【平成 25 年度取り組み状況】

「北見市上下水道中期経営プラン（前期）」は、今後 10 年間の企業局全体の経営戦略として取り組む「北見市上下水道ビジョン（平成 22 年 3 月策定、平成 22～31 年度）」の実現に向けた前期 5 カ年の主要施策の実施計画を示しています。

この中期経営プランに基づき実施した平成 25 年度の取り組み状況等を実績報告として取りまとめ、次年度以降の事業の着実な推進に努めます。

目 次

1. 実施計画（体系図）	1
2. 計画の取り組み状況（平成 25 年度）	
【水道項目】	2
【下水道項目】	4
【共通項目】	5
3. 数値目標一覧	6
4. 財政収支見通し	7

1. 実施計画

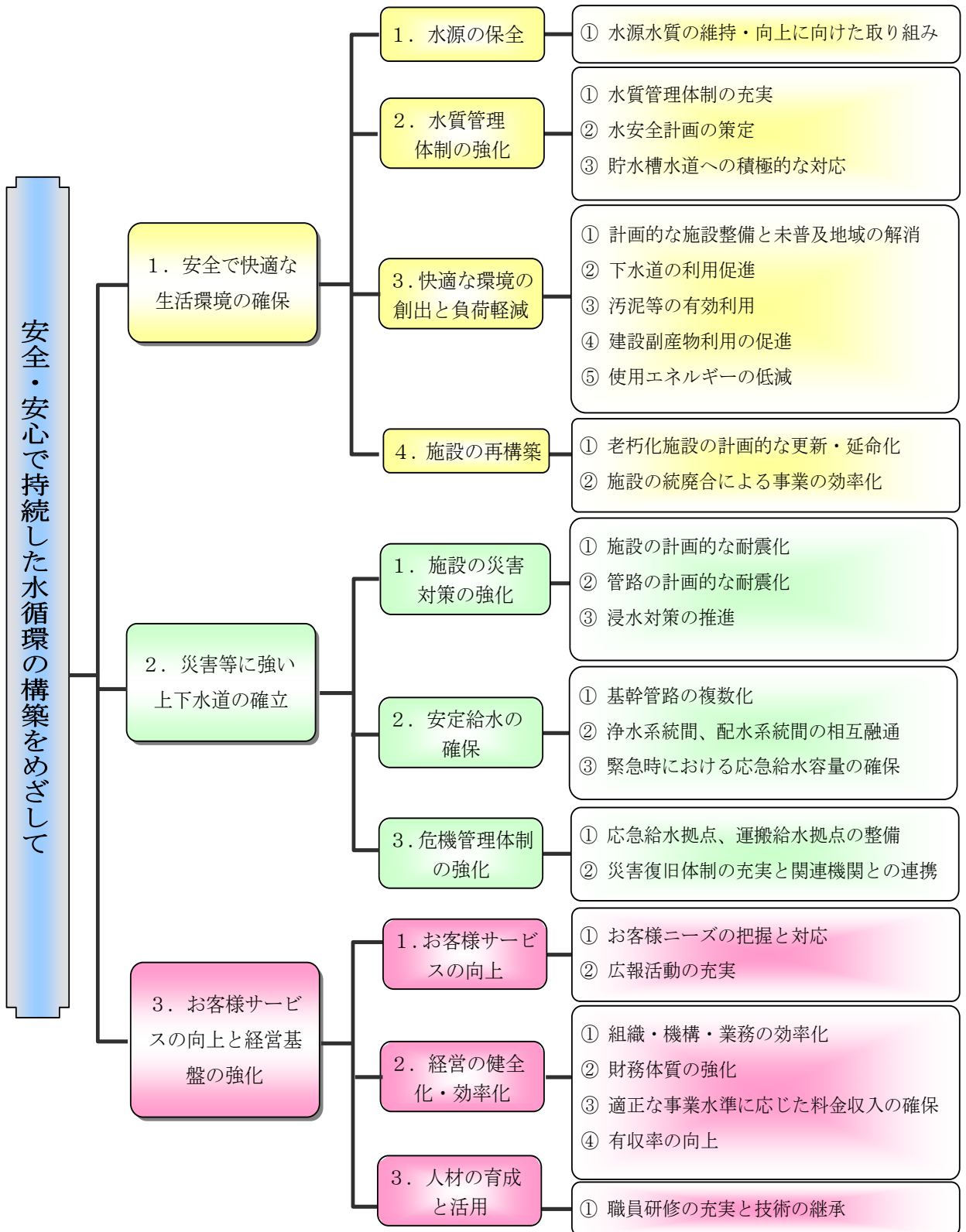
体系図

《基本理念》

《基本目標》

《基本方針》

《主要施策》



2. 計画の取り組み状況(平成25年度)

【水道項目】

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績(H25)	実績額 (百万円)												
安全で快適な生活環境の確保	水源水質の維持・向上に向けた取り組み	水源水質調査、パトロールの継続、関係機関協議会への参加を行い水源水質の維持向上に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> 「平成25年度 水質検査計画」に基づく原水水質検査の実施 降雨時、融雪時における河川パトロールの実施 「常呂川水系環境保全対策協議会」「常呂川水系清流ルネッサンスⅡ」に参加し、水質浄化対策などを関係機関と協議を行った。 家畜ふん尿対策として、市環境課、訓子府町、JA畜産グループと協議を行い、畜産農家への指導強化を申し入れた。 													
	水質管理体制の充実	毎年度「水道水質検査計画」を策定・実施し、定期的な検査機器の更新を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 「平成25年度 水質検査計画」の策定、実施 検査機器の更新 クリプトスポリジウム検査機器・濁度計・水分計 他 	12												
	「水安全計画」の策定	H23までに「水安全計画」を策定し、適宜見直しを行い安定的な水道水の供給に努めます。	「北見市水安全計画概要版」策定、平成25年4月HPで公表													
	貯水槽水道への積極的な対応	水質の確保された水道水が供給されるよう、水道事業者として積極的に貯水槽水道設置者とともに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 簡易専用水道設置者には検査についての文書送付、検査実施。 (50/63 検査率 79.4%) 小規模貯水槽水道設置者について検査の重要性について文書送付。 (対象施設 328件) 													
	計画的な施設整備と未普及地域の解消	未普及地域の方々への意向調査を行い、費用対効果も検討し、普及率の向上に取り組めます。 ◎数値目標(水道普及率) 水道水を利用している人の割合 (給水人口/行政区域内人口)	<ul style="list-style-type: none"> 未普及地域解消等事業 豊地地区配水管布設工事 φ150~400mm 201.7 m 北上地区配水管布設工事 φ75~200mm 613.6 m 留辺蘂町地区配水管布設工事 φ50~75mm 199.3 m 西三輪地区配水管布設工事外4件 φ50~150mm 536.6 m 道営農業農村整備事業負担金(留辺蘂町大和地区) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93.9%</td> <td>94.0%</td> <td>96.5%</td> <td>温根湯温泉地区において区域拡張の変更認可を受け、道営事業との合併施行により事業を進めている</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標		H24	H25	H26		93.9%	94.0%	96.5%	温根湯温泉地区において区域拡張の変更認可を受け、道営事業との合併施行により事業を進めている	69
	実績		目標													
	H24	H25	H26													
	93.9%	94.0%	96.5%	温根湯温泉地区において区域拡張の変更認可を受け、道営事業との合併施行により事業を進めている												
	汚泥等の有効利用	広郷浄水場においては、H24までに天日乾燥ろ床を整備し、現在産業廃棄物として処分している汚泥の有効利用を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> 広郷浄水場天日乾燥ろ床建設工事 H25~27年度の3か年で、天日乾燥ろ床の工事を実施し、汚泥の有効利用を検討する。 	276												
	建設副産物利用の促進	産業廃棄物の削減やコスト削減につながる取り組みとして、再生材料の使用や施工方法の検討を継続的に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> アスファルト再生合材(50%)の利用 水道管浅層埋設による工事期間の短縮、アスファルト廃材等の削減について、工大との共同研究を実施(H25~)し、検討を始めた。 	3												
使用エネルギーの低減	「環境計画書」作成の検討や使用エネルギーの少ない機器への更新、配水ブロックの見直しを検討し、環境負荷低減に取り組めます。	日の出沈砂池耐震補強工事に合わせて、照明器具のLED化を図った。														
老朽化施設の計画的な更新・延命化	「アセットマネジメント」の策定を行います。 導送配水管更新事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 策定に向け資料の収集 送配水管更新事業 φ50~450mm 北見 9,193.9 m 端野 m 常呂 44.2 m 留辺蘂 m 計 9,238.1 m 	739													
	広郷浄水系統送配水施設更新事業を実施します。	広郷浄水系統送配水施設更新事業 三輪ポンプ場機械設備等改修工事	51													
	金華取水導水配水施設更新事業を実施します。															
	吉野取水・導水施設更新事業を検討、実施します。	平成25年度実施事業は無いが、維持管理により機能を保持														
	その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> 広郷浄水場混和池等制御装置複数化工事 瑞穂浄水場膜ユニット更新工事 	70													
	施設の統廃合による事業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 温根湯温泉地区統合簡易水道事業 大和地区 道営事業負担金 端野町緋牛内地区を協和地区に統合するための調査費 	141													

【水道項目】

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績(H25)	実績額 (百万円)									
災害等に強い上下水道の確立	施設の計画的な耐震化	H25までに重要な基幹施設(広郷浄水場、三輪ポンプ場、日の出沈砂池)については耐震化工事を実施します。 ◎数値目標(浄水場耐震化率) 耐震化された浄水施設能力の割合(耐震性のある施設能力/全施設能力)	・基幹施設耐震化事業 日の出沈砂池耐震補強工事	60									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95.4%</td> <td>95.4%</td> <td>93.1%</td> </tr> </tbody> </table> 広郷浄水場の補強工事がH24年度完了し、目標値に達した。		実績		目標	H24	H25	H26	95.4%	95.4%	93.1%
			実績		目標								
			H24		H25	H26							
	95.4%	95.4%	93.1%										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>84.9%</td> <td>84.9%</td> <td>92.9%</td> </tr> </tbody> </table> 大震災に伴い耐震基準等の動向を注視したため、耐震診断を見合わせていた。H26年度中区ポンプ場更新実施設計。	実績		目標	H24	H25	H26	84.9%	84.9%	92.9%			
	実績		目標										
	H24	H25	H26										
	84.9%	84.9%	92.9%										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27.1%</td> <td>27.1%</td> <td>25.9%</td> </tr> </tbody> </table> 目標値に達している。H26中区配水池耐震診断。	実績		目標	H24	H25	H26	27.1%	27.1%	25.9%			
実績		目標											
H24	H25	H26											
27.1%	27.1%	25.9%											
②数値目標(ポンプ場耐震化率) 耐震化されたポンプ場能力の割合(耐震性のある施設能力/全施設能力)	・その他施設耐震化事業 東日本大震災の被災状況により、耐震診断方法の変更が想定されるため、耐震診断は実施していない。												
③数値目標(配水池耐震化率) 耐震化された配水池容量の割合(耐震性のある配水池容量/全配水池容量)	・管路耐震化事業 ダクタイル鋳鉄管(GX形) 1,378.0 m ダクタイル鋳鉄管(NS形) 1,098.0 m ポリエチレン管(PE) 136.0 m ステンレス鋼管 0.0 m 計 2,612.0 m	送配水管更新費に計上											
④数値目標(水道管路耐震化率) 耐震化された水道管路の割合(耐震管延長/管路総延長)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.3%</td> <td>3.5%</td> <td>3.4%</td> </tr> </tbody> </table> 計画どおり推移している。老朽管更新時に併せて口径φ150mm以上の管は耐震管を採用。	実績		目標	H24	H25	H26	3.3%	3.5%	3.4%			
実績		目標											
H24	H25	H26											
3.3%	3.5%	3.4%											
基幹管路については優先的に、他の管路についても更新と併せ積極的に耐震化に取り組みます。	・平成23年度事業完了 事業年度 H22~H23 総事業費 1,353,918 千円 φ150~800 L=2,771.7m												
◎数値目標(水道管路耐震化率) 耐震化された水道管路の割合(耐震管延長/管路総延長)	・老朽管の布設替えに重点をおき事業を進めているため、現時点では未実施。												
基幹管路の複数化	北見自治区の9割近くを受け持つ広郷浄水場~三輪ポンプ場までの2系統化工事を実施します。 その他の基幹管路の2系統化事業を検討します。												
浄水系統間、配水系統間の相互融通	連絡管整備計画の策定を行います。 金華浄水系統~広郷浄水系統連絡管工事を実施します。	・後期計画で実施予定事業											
緊急時における応急給水容量の確保	緊急貯水槽整備計画の策定を行います。 緊急貯水槽整備工事を検討、実施します。	・後期計画で実施予定事業											
応急給水拠点、運搬給水拠点の整備	緊急給水拠点、運搬給水拠点整備計画の策定を行います。 配水施設整備に併せた拠点整備に取り組みます。	・給水拠点となる配水池の改築・更新時に併せて整備を実施する予定											
災害復旧体制の充実と関連機関との連携	災害関連マニュアルの整備や緊急資機材の備蓄、水処理情報の一元化や監視カメラの設置及びマッピングシステムの精度向上に取り組みます。	・マッピングシステムデータ更新等	11										
お客様サービスの向上と経営基盤の強化													
有収率の向上	有収率、有効率の向上は事業経営上においても重要課題であるため、継続的に取り組みます。 ◎数値目標(有収率) 料金徴収の対象となる水量の割合 【有収水量/給水量】	・有収率の向上 老朽管工事・漏水調査費・修繕工事費 北見市水道事業の漏水防止基本計画に基づき実施	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77.4%</td> <td>78.4%</td> <td>80.8%</td> </tr> </tbody> </table> 前年度と比較すると率は若干向上したが、目標値達成に向け、今後も漏水防止基本計画に則った取組みを進める。	実績		目標	H24	H25	H26	77.4%	78.4%	80.8%	32
実績		目標											
H24	H25	H26											
77.4%	78.4%	80.8%											

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績(H25)	実績額 (百万円)											
安全で快適な生活環境の確保	計画的な施設整備と未普及地域の解消	未普及地域の方々への意向調査を行い、費用対効果も検討し、普及率の向上に取り組みます。 ◎数値目標(下水道普及率) 下水道・漁業集落排水が利用可能な人の割合 (処理区域内人口/ 認可区域内人口)	汚水処理施設整備事業 汚水管整備 φ150~250mm L= 1232.02 m 公共汚水樹の新設	123											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>99.7%</td> <td>99.7%</td> <td>99.5%</td> <td>計画どおりに推移している</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標		H24	H25	H26		99.7%	99.7%	99.5%	計画どおりに推移している
	実績		目標												
	H24	H25	H26												
	99.7%	99.7%	99.5%	計画どおりに推移している											
	下水道の利用促進	水洗化率の向上に向けて継続的に啓発活動を行います。	緊急合流改善事業 分流化のための管渠整備 φ200~800mm L=7,741.34m	850											
				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H25</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95.5%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>計画どおり事業完了</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標		H24	H25	H25		95.5%	100.0%	100.0%
	実績		目標												
	H24	H25	H25												
	95.5%	100.0%	100.0%	計画どおり事業完了											
汚泥等の有効利用	下水汚泥については、H26までに全量を有効利用するための検討や施設整備を行い、また消化ガスについても利用の検討をします。	・北見市浄化センター汚泥脱水機設備更新実施設計業務委託	7												
建設副産物利用の促進	産業廃棄物の削減やコスト削減につながる取り組みとして、再生材料の使用や施工方法の検討を継続的に取り組みます。	・舗装復旧にあたり、アスファルト再生合材(50%)を利用 ・取り壊した既設の舗装合材は、再資源化プラントにおいて処理													
老朽化施設の計画的な更新・延命化	各自治区処理場と北見自治区管渠のデータベース化に取り組みます。 長寿命化計画の策定を行います。	・北見・留辺蘂・常呂は、H23までに完了。 ・端野町下水道管理センターは、更新計画等策定時にあわせて実施予定													
		・長寿命化計画策定事業 北見・常呂処理場～H24策定済み 留辺蘂処理場～H27策定予定													
	長寿命化対策・改築更新事業を実施します。	・改築更新事業 北見浄化センター機械・電気設備更新工事 (A2系散気装置他更新) 常呂終末処理場機械・電気設備更新工事 (水処理計装設備他更新)	247												
災害等に強い上下水道の確立	施設の計画的な耐震化	耐震診断の実施、基本計画の策定を行います。	・処理施設耐震化事業 耐震診断実施 北見市浄化センター・北光ポンプ場・端野・常呂終末処理場	21											
		耐震診断の結果と改築更新計画に合わせた耐震化に取り組みます。 ◎数値目標(処理場の耐震化率) 耐震化された処理場の構造物割合 (耐震性のある構造物数/ 構造物数)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13.8%</td> <td>13.8%</td> <td>24.1%</td> <td>北見市浄化センターは、H26以降耐震化工事を順次予定している</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標		H24	H25	H26		13.8%	13.8%	24.1%	北見市浄化センターは、H26以降耐震化工事を順次予定している
	実績		目標												
H24	H25	H26													
13.8%	13.8%	24.1%	北見市浄化センターは、H26以降耐震化工事を順次予定している												
管路の計画的な耐震化	耐震化計画の策定に取り組みます。 長寿命化対策や改築更新計画に併せた耐震化に取り組みます。 ◎数値目標 (重要な下水幹線等耐震化率) 耐震化された重要な下水幹線等の割合 (耐震管延長/ 重要な幹線等延長)	・下水道管渠長寿命化計画(山下通地区)策定													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8.0%</td> <td>8.0%</td> <td>9.0%</td> <td>策定した長寿命化計画・基礎調査を基に、H26以降事業を実施する予定</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標		H24	H25	H26		8.0%	8.0%	9.0%	策定した長寿命化計画・基礎調査を基に、H26以降事業を実施する予定	114
実績		目標													
H24	H25	H26													
8.0%	8.0%	9.0%	策定した長寿命化計画・基礎調査を基に、H26以降事業を実施する予定												
浸水対策の促進	大雨の影響を受けやすい地域から優先的に雨水管整備に取り組みます。 ◎数値目標(雨水面積整備率) 雨水整備の計画面積に対する浸水対策済み面積割合 (雨水整備面積/公共下水道事業認可区域面積)	・雨水管整備事業 雨水管整備 φ250~□2,300mm L=2,845.53m 公共雨水樹設置工事(北見)	348												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>57.7%</td> <td>58.2%</td> <td>55.5%</td> <td>計画どおり推移している 道路整備等と併せて効率的に整備を実施している。</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標		H24	H25	H26		57.7%	58.2%	55.5%	計画どおり推移している 道路整備等と併せて効率的に整備を実施している。	
実績		目標													
H24	H25	H26													
57.7%	58.2%	55.5%	計画どおり推移している 道路整備等と併せて効率的に整備を実施している。												

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績(H25)	実績額 (百万円)								
経 お 客	お客様ニーズの把握と対策	アンケート調査を継続的に実施し、データの蓄積と分析により、お客様サービスの向上に取り組めます。 ◎数値目標(アンケート情報収集割合) 給水人口に対するアンケート調査回答人数の割合 (アンケート回答人数/給水人口)	アンケート調査の実施にかかり、実施時期及びお客様のニーズ調査に対する内容につき検討を行った。									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <th>H25未実施</th> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H26</th> <th>実施時期・内容を検討する。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.0%</td> <td>H26実施</td> </tr> </tbody> </table>		実績		目標	H25未実施	H23	H24	H26	実施時期・内容を検討する。
実績		目標	H25未実施									
H23	H24	H26	実施時期・内容を検討する。									
—	—	1.0%	H26実施									
営 様 サ 基 一	広報活動の充実	各種広報活動を充実させることにより、事業経営についてお客様のご理解と信頼を得るよう取り組めます。 ◎数値目標(上下水道事業に係る情報の提供度) 広報誌などによる利用者への情報提供の割合 (広報誌発行部数/給水人口)	上下水道事業にかかる予算・決算、施設整備の状況、断水・事故情報、お客様が行う届出や収納窓口に関する事など、お客様が必要とする情報や「水道週間」、「下水道の日」についての周知を広報誌及び北見市のホームページにより実施しました。また、水環境保全の大切さを理解していただくため、平成24年度に発行した北見市水道事業60年下水道事業50年記念誌「水のあゆみ」より抜粋した内容を特集として広報誌に掲載し、周知を図った。	2								
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <th rowspan="2">例年行っている特集のほか、記念誌の広報として5回の連載を行った。</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.0%</td> <td>2.0%</td> <td>3.0%</td> </tr> </tbody> </table>		実績		目標	例年行っている特集のほか、記念誌の広報として5回の連載を行った。	H24	H25	H26	2.0%
実績		目標	例年行っている特集のほか、記念誌の広報として5回の連載を行った。									
H24	H25	H26										
2.0%	2.0%	3.0%										
盤 ビ ス の の 向 強 上 化と	組織・機構・業務の効率化	継続的に組織・機構・業務を見直すことにより効率的な企業経営に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> 業務分担等について常に改善点がないか見直し、効率的な経営に努めた。 組織機構は、北見市の組織機構の見直しに基づき実施しているが、平成25年度については大きな変更は行わなかった。 									
			財務体質の強化		財政計画の策定、未利用資産の有効利用などを実施し、財務体質の強化に取り組めます。	「北見市上下水道ビジョン」に基づき予算編成を行い執行した。事業の執行に当たっては、収入の確保に努めるとともに、費用の縮減を図った結果、水道事業で、120,493,474円、下水道事業で、201,798,780円のそれぞれ当年度純利益となった。						
の の 向 強 上 化と	適正な事業水準に応じた料金収入の確保	料金及び会計方式の統一により、負担の公平性を図り将来の事業経営の安定を目指します。	(財政状況の開示・料金水準の見直し) ・財政状況の開示 広報5月号(予算)、広報11月号(決算)にて開示。また、ホームページに経営情報として、各種資料を掲載した。 ・料金水準の見直し 上下水道審議会に上下水道料金について諮問を行った(6月10日)。水道料金については、現行を維持、下水道使用料は、必要最小限の改定とすべきとの答申を頂いた。 答申に基づき、平成25年第4回定例会で条例改正案を上程し、平成26年第1回定例会で可決した。 改定内容 下水道使用料 3.9%の改定 平成26年10月実施									
			(収納率向上に向けた取り組み) 納期限までに支払いされない滞納開始から、給水停止に至るまでの期間を短縮するため、督促、給水停止予告に続いて発行していた給水停止執行のがきを廃止する。 加えて、近年登録連絡先の大半を占める携帯に、直接電話督促を実施する。									
化と	職員研修の充実と技術の継承	安定的に事業を継続できるよう、研修制度の充実や、技術の継承に取り組めます。	北見市企業局職員研修基本計画に基づいた「平成25年度 北見市企業局研修計画」を策定し、本計画の各研修メニューに基づいた、全体・専門別及び外部研修を実施した。	2								

3. 数値目標一覧

基本目標1. 安全で快適な生活環境の確保

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	現状 H20	実績数値				目標 H26	目標 H31
			H22	H23	H24	H25		
1-3-① 水道普及率	水道水を利用している人の割合 (給水人口/行政区域内人口)	94.2%	93.9%	93.8%	93.9%	94.0%	96.5%	98.6%
1-3-① 下水道普及率	下水道・漁業集落排水が利用可能な人の割合 (処理区域内人口/認可区域内人口)	99.5%	99.6%	99.6%	99.7%	99.7%	99.5%	99.6%
1-3-① 合流式下水道改善率	合流式下水道改善率 (分流式下水道並み整備面積/ 合流式下水道整備面積)	71.7%	81.7%	88.5%	95.5%	100.0%	100% (H25)	100.0%

基本目標2. 災害等に強い上下水道の確立

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	現状 H20	実績数値				目標 H26	目標 H31
			H22	H23	H24	H25		
2-1-① 浄水場耐震化率	耐震化された浄水施設能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	7.0%	13.5%	13.5%	95.4%	95.4%	93.1%	93.1%
2-1-① ポンプ場耐震化率	耐震化されたポンプ場能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	29.6%	29.6%	29.6%	84.9%	84.9%	92.9%	92.9%
2-1-① 配水池耐震化率	耐震化された配水池容量の割合 (耐震性のある配水池容量/ 全配水池容量)	9.8%	26.9%	26.9%	27.1%	27.1%	25.9%	25.9%
2-1-② 水道管路耐震化率	耐震化された水道管路の割合 (耐震管延長/管路総延長)	0.5%	1.6%	2.2%	3.3%	3.5%	3.4%	6.1%
2-1-① 処理場の耐震化率	耐震化された処理場の構造物割合 (耐震性のある構造物数/構造物数)	13.8%	13.8%	13.8%	13.8%	13.8%	24.1%	32.2%
2-1-② 重要な下水幹線等の耐震化率	耐震化された重要な下水幹線等の割合 (耐震管延長/重要な 幹線等延長)	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	9.0%	10.0%
2-1-③ 雨水面積整備率	雨水整備の計画面積に対する浸水 対策済みの面積割合 (雨水整備面積/公共下水道 事業認可区域面積)	54.9%	55.8%	56.8%	57.7%	58.2%	55.5%	55.9%

基本目標3. お客様サービスの向上と経営基盤の強化

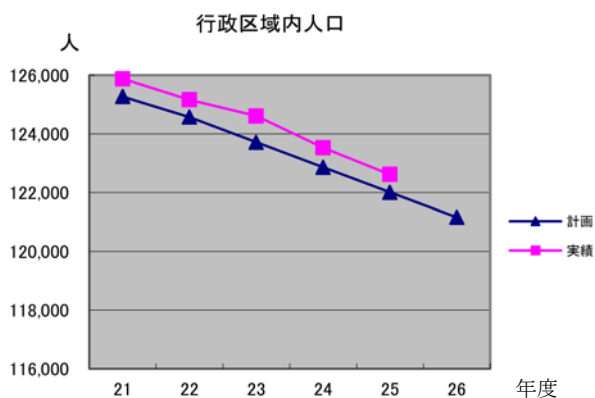
指標名	指標の持つ意味 (算出式)	現状 H20	実績数値				目標 H26	目標 H31
			H22	H23	H24	H25		
3-1-① アンケート情報収集割合	給水人口に対するアンケート調査回 答人数の割合 (アンケート回答人数/給水人口)	0.8%	—	—	—	—	1.0%	1.0%
3-1-② 上下水道事業に係る情報の提供度	広報誌などによる利用者への情報提 供の割合 (広報誌発行部数/給水人口)	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	3.0%	4.0%
3-2-④ 有収率	料金徴収の対象となる水量の割合 (有収水量/給水量)	76.9%	71.7%	77.2%	77.4%	78.4%	80.8%	84.4%

4. 財政収支見通し

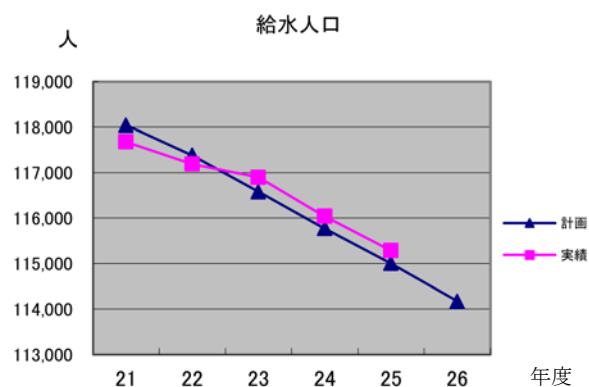
(1) 水需要量の状況

年 度		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
①行政区域内 人口 (人)	計画	125,270	124,570	123,710	122,860	122,010	121,160
	実績	125,876	125,158	124,607	123,525	122,613	
②給水人口 (人)	計画	118,040	117,380	116,580	115,770	115,000	114,170
	実績	117,678	117,191	116,830	116,040	115,283	
③給水戸数 (戸)	計画	65,900	65,890	65,820	65,750	65,700	65,260
	実績	66,290	66,272	66,580	67,012	67,242	
④有収水量 (m ³ /日)	計画	33,325	33,132	32,914	32,694	32,479	32,256
	実績	33,102	31,884	33,056	32,955	32,498	

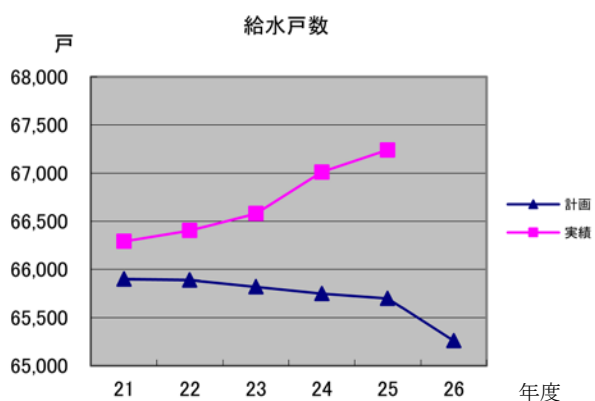
① 行政区域内人口



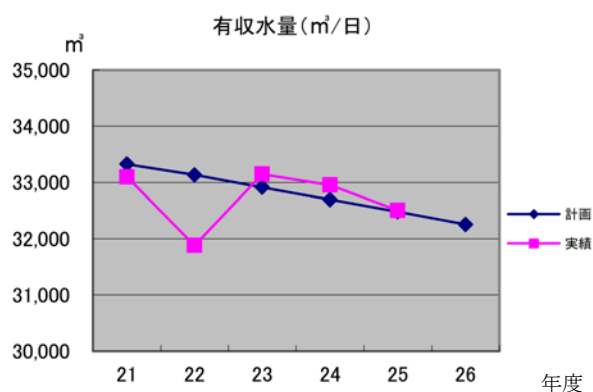
②給水人口



③給水戸数



④有収水量 (水道)



有収水量は、22年度において隔月検針・徴収の実施に伴い大幅に減となっておりますが、23～25年度の水量は、ほぼ計画どおりに推移しています。しかし平成25年度は前年度と比べ1.4%の減となり水需要量は減少傾向であります。

※有収水量：料金徴収の対象となった水量

(2) 財政収支見通しと決算

◎水道事業

(単位：百万円)

区 分	25年度① (収支見通し)	25年度② (決算)	②-①
受入資金(A)	4,138	4,327	189
うち料金収入	2,392	2,339	-53
支払資金(B)	4,064	3,779	-285
うち建設改良費	1,142	1,523	381
収支差引(C)=(A)-(B)	74	548	474
資金残高(C)+前年度	1,514	2,699	1,185

◎下水道事業

(単位：百万円)

区 分	25年度① (収支見通し)	25年度② (決算)	②-①
受入資金(A)	7,587	6,652	-935
うち料金収入	1,897	1,865	-32
支払資金(B)	7,508	6,235	-1,273
うち建設改良費	2,770	1,762	-1,008
収支差引(C)=(A)-(B)	79	417	338
資金残高(C)+前年度	-2,899	-1,995	904

◎水道事業

受入資金(A)では、建設改良費が国の24年度補正予算(繰越事業)に伴い一部事業を前倒ししたことにより国補助金等が計画を上回りました。
支払資金(B)では、建設改良費が計画を上回る実施となりましたが、低金利に伴う支払利息の減及び人件費・物件費等が一定程度縮減できたことにより計画を下回りました。
この結果、資金残高(C)が計画に比べ1,185百万円上回り、必要な資金の確保ができました。

◎下水道事業

処理場等施設の耐震化が計画よりやや遅れており、建設事業費に係る受入資金(A)、支払資金(B)がともに計画より下回りました。
料金収入が計画をやや下回りましたが、支払資金(B)のうち低金利に伴う支払利息の減及び人件費・物件費等が一定程度縮減できました。
この結果、資金残高(C)が計画に比べ904百万円資金不足が減少しました。

※このように、平成25年度は、両事業ともに計画をやや上回る結果となりましたが、今後は、人口減少等の影響から料金収入の減少が予想される中で、災害対策や老朽管の更新などの対応が課題となりますが、今後も、上下水道ビジョンの実現に向けて、経営状況等を勘案しながら効率的に事業を実施し、安全・安心で持続した水循環の構築を目指してまいります。

参考：＜財政収支の見通し、計画・実績＞

◎水道事業
計画

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	6,127	4,463	4,077	4,289	4,138	4,131
うち料金収入	2,237	2,323	2,314	2,401	2,392	2,474
支払資金 (B)	6,234	4,198	3,964	4,090	4,064	4,116
うち建設改良費	3,647	1,488	1,225	1,336	1,142	1,110
収支差引 (C) = (A) - (B)	-107	265	113	199	74	15
資金残高 (C) + (前年度)	863	1,128	1,241	1,440	1,514	1,529

実績

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	5,859	4,244	4,867	5,066	4,327	
うち料金収入	2,199	2,142	2,281	2,305	2,339	
支払資金 (B)	5,790	3,927	4,489	4,649	3,779	
うち建設改良費	3,405	1,552	2,185	1,983	1,523	
収支差引 (C) = (A) - (B)	69	317	378	417	548	
資金残高 (C) + (前年度)	1,039	1,356	1,734	2,151	2,699	

◎下水道事業

計画

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	10,702	7,531	7,914	7,262	7,587	6,589
うち料金収入	1,732	1,928	1,918	1,907	1,897	1,884
支払資金 (B)	10,797	7,349	7,735	7,143	7,508	6,582
うち建設改良費	2,386	2,671	3,017	2,457	2,770	1,737
収支差引 (C) = (A) - (B)	-95	182	179	119	79	7
資金残高 (C) + (前年度)	-3,458	-3,276	-3,097	-2,978	-2,899	-2,892

実績

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	9,449	7,507	7,656	7,852	6,652	
うち料金収入	1,706	1,710	1,903	1,891	1,865	
支払資金 (B)	9,448	7,322	7,281	7,463	6,235	
うち建設改良費	2,218	2,771	2,722	2,536	1,762	
収支差引 (C) = (A) - (B)	1	185	375	389	417	
資金残高 (C) + (前年度)	-3,361	-3,176	-2,801	-2,412	-1,995	